

『失敗しないためのジェンダー表現 ガイドブック』

新聞労連ジェンダー表現ガイドブック編集チーム //著 小学館 367.2/シ
「ジェンダー平等を日本で早く実現するため、まずメディアが発信する記事から見直さなければならない。」現役の新聞記者やジャーナリストの強い危機感から生まれた本です。今やSNSなどで誰もが発信者になる時代、ジェンダー表現のリテラシーを高めるために偏見や思い込みを見直せる一冊です。

『LGBTQの働き方をケアする本』

宮川 直己//著 自由国民社 336.4/ミ
職場の環境はどのように整えればいい？ カミングアウトを受けたら何と声をかければいい？ あたたかいコミュニケーションをとるにはどうすればいい？ など、多様な人材を登用し活用するためのコツをわかりやすく紹介しています。

『ジェンダーで読み解く男性の働き方・暮らし方』

多賀 太//著 時事通信出版局 367/Ta17
なかなか進まない男性の家事・育児参加。男性稼ぎ手社会を壊すことは、男性の生きづらさも解消する。ジェンダー平等に向けた、本気の働き方・暮らし方改革について考察しています。
※栄分館の所蔵本です。

『ほんとうの多様性についての話をしよう』

サンドラ・ヘフェリン//著 旬報社 T361/へ
いろいろな国の人が増えれば多様な社会になるの？ 多様性とは何でも受け入れることではありません。誤解と偏見だらけのニッポンの多様性を見つめなおしませんか。みんなが居心地のいい社会をつくるためのヒントがここにあります。

貸出し中の場合はご予約できます。
カウンターまでお申し出ください。





生き方



『わたしの体に呪いをかけるな』

リンディ・ウェスト//著 双葉社 367.2/ウ

体形への偏見や差別、インターネットでの誹謗中傷、ジョークの皮をかぶった性暴力。女性（わたし）たちから人生を奪うこの社会のシステムを、全部蹴っ飛ばせ！気鋭の批評家が自らの体験をもとに綴った、不屈のユーモアと怒りのフェミニズム戦記です。

『ニュー・ダッド あたらしい時代のあたらしいおっさん』

木津 毅//著 筑摩書房 367.5/キ

「おっさん＝古いもの、いまの社会の悪しき土台を作ったもの」とみなされる今日この頃。それならいま「おっさん」はどこへ行くべきなのか？国内外のポップカルチャーをヒントに、「あたらしいおっさん＝ニュー・ダッド」たちの姿を見つめるエッセイです。

『女性の覚悟』

坂東 眞理子//著 主婦の友社 159.6/バ

「人生こんなはずではなかった」「自分ばかりが損をしている」「家事は私ばかり、疲れた」「100年時代といわれてもまだ数十年ある。この先の老後が不安」といった悩みを抱える40～60代に坂東眞理子さんが新しいメッセージを書き下ろしました。

『どうして男はそうなんだろうか会議』

澁谷 知美・清田 隆之//編 筑摩書房 367.5/ド

男性の「現在」をめぐって、澁谷知美さん（社会学者）と清田隆之さん（ライター、桃山商事 代表）が聞き手となり、ゲストたちとあれこれ語り合う。そこから見えてきた、「これからの男」とは？

『10代のバイブル 僕が伝えたいことは、僕が伝えてほしかったこと。』

中澤 利彦//著 Galaxy Books T159/ナ

新潟県出身、ニューヨークでプロダンサーとして活躍する著者が、自らの経験の中で大切だと感じた事を60個にまとめて伝えます。悩める若者たちに「生きる力」のヒント示してくれる一冊です。



家族・家庭



『家族は他人、じゃあどうする？ 子育ては親の育ち直し』

竹端 寛//著 現代書館 599/タ

「ぼくはいまだに、とっさに子どもをグイッと引っ張る癖がある。でも、ふと考えるのだ。なぜ、ぼくはそそっかしいままで、妻は注意深くあるのだろうか？」著者が自分のなかの「仕事中心主義」や「力づく」のやり方（＝男性中心主義）に気づき、ケアの世界にたどり着くまでの日々の記録が綴られています。

『老後の心配はおやめなさい 親と自分の「生活戦略」』

荻原 博子//著 新潮社（新潮新書） S591/オ

親の介護、自分の老後資金、揉める相続、かさむ医療費……その心配、本当にすべきなのでしょうか。知って備えて安心すれば、豊かな老後が待っています。老後不安のなくし方として、家計の専門家が基礎の基礎から教えています。

『デンマーク発ジェンダー・ステレオタイプから自由になる子育て』

セシリエ・ノアゴー//著 ヘウレーカ 367.1/ノ

「女の子らしさ」「男の子らしさ」という性別にまつわる固定観念や思い込みが、子どもの可能性や自分らしく生きることを阻むとしたら？身近な大人ができることや、社会を変えるために規範と批判的に向き合うことなどを伝えます。

『デジタルおしゃぶりを外せない子どもたち』

ウツラ・デュアルーヴ//著 子ども時代 379.9/デ

子どもたちのデジタル・ライフに親が興味を持ち、ともにわくわくしながら会話し、楽しみ、子どもの心に寄り添うにはどうすればよいのか。ICT教育先進国デンマークの心理士が事例とともに示しています。

『共働きのすごい対話術 仕事も家庭もうまくいく!』

あつた ゆか//著 クロスメディア・パブリッシング 367/A95

「理想のライフとキャリアを実現するには、パートナーとの協力が欠かせない。」さまざまな共働き夫婦やカップルの事例を紹介しながら、建設的な対話をするためのノウハウやマインドを伝えます。

※下田分館の所蔵本です。